

私はまず食品ロスとフードロスは、今まで全く同じものだと思っていました。しかし、お話を聞いて、食品ロスの中にフードロスと食品廃棄物があり、フードロスと言うと、食品廃棄物の分類が入らなくなってしまうと言うことに気がつけました。食品ロスは世界で3位になるほど多くなっていることを知りました。また3Rの優先順位として高い方から順にリデュース、リユース、リサイクルであるため、余ったら他のものに変えるのではなく、そのあまるものそのものを出さないようにすることを変えるべきだと言うことに気が付きました。1つの食品には水をものすごく使っていたり、生き物の命をもらっていることに、改めて気づかされ、食べることへの感謝を忘れずにいたいと感じます。食品ロスを減らすために、賞味期限は過ぎても食べることができるため、すぐには捨てない、すぐに食べるのであれば、期限が近く、手前の食品を買う、飢餓に困っている人たちにフードバンクやフードドライブなど寄付をするなどがあることを知りました。寄付はできなくとも手前の食品を買ったりはできるので、少しのことでも取り組んでいきたいと思います。

---

私は調べ学習で食品ロスについて調べていたので、たくさんの食品が捨てられているという事実は知っていましたが、1世帯が1年間で6万円分も捨てているということは知らなかったのが驚きました。自分は食品を捨てているという意識がありませんが、6万円という数値を聞いて、もしかしたら無意識に食品を捨てているかもしれないと思いました。

コンビニやスーパーで買い物をする際に牛乳を後ろの方から取ったのに、すぐに飲み終わるということが以前ありました。買う当日に使う予定であれば前から取るというのを意識したいです。また、空腹時に買い物をするとうまくたくさん買ってしまふということにはとても共感できました。そのため、これからは空腹時ではない時間に買い物をしたいです。

日本で1年間に余らせてしまう食べ物はおよそ522万トンなのに対して、食べ物に困っている人は2000万人いるので、食べる予定がないものは寄付をするなど、食品ロス削減に貢献していきたいです。

---

講演会の後、私は一人で自宅の夕飯を作りました。コロッケを作りましたが、改めて作ると自分の家で様々なゴミが出ていることに気づきました。キャベツの残りかす、小麦粉、卵……。一回の調理で、ここまで生ごみが出るとは思ってもいませんでした。もったいなかったです。私は昔から食べ物に対してもったいないという感覚が人一倍強かったように思います。小さいころから外遊びが大好きで、命を食べる感覚がわかっていました。なにより、人の作ったものを食べられないことが悲しくて、もったいない感覚が育ったように思います。中学生になって、自分の知らない世界が見えるようになったら、この社会のそこら中にもったいないが落ちていることに気づきました。大量生産、大量消費、そして大量廃棄。食べる行為は命を食べることという講演会を聞いて、私たちは一日に一体どれくらいの命を捨てているんだろうと思いました。人間と自然は本来共生するはずが、今は一方的な搾取に変わっています。よくないと思います。井出さんのお話を伺って、自分で料理をしてみようと思いました。できるだけ食べ物を捨てないように、調理しようと思います。

---

今日は井出留美さんのお話を聞いて、今の食料関係の情勢などが分かったと思います。私は食糧危機という問題にあまり興味を持っていなかったのですが、正直今世の中でどれほどの人が困難に遭っているかなど、全くと言っていいほど知りませんでした。ですが今回の井出さんのお話を聞き、全てではないけれどとても分かった気がします。フードバンクなどは今やっている総合の環境問題というテーマの中で何度も聞いたことがありました。それほどフードバンクが身近になっているということをととても実感させられました。

私は元々食にチャレンジするタイプではないので外食などの食べ残しは少ないですが、家の冷蔵庫にはその日食べようと思って買ったけど結局食べなかったというものが無いわけではないと思います。今も気をつけてはいるけれど、必要最低限の食材しか買わないということなど、今身近に手軽にできることを探して自分からやってみたいです。

---

お話を聞いて、1年間で一般家庭が捨ててしまう食品の値段は6万円だと知り驚きました。今はウクライナやコロナで食品（物価）が値上がりしているのですが、年間でそれほどの値段の分も捨ててしまうのはもったいないと感じました。経済的に厳しい状況の国は、災害のあった避難所などに寄付する食料は440万トン、それに対して日本の中で捨てられる食料の量は522万トンと話されていたのが印象的でした。世界全体ではなく、日本の中だけで寄付した量より捨てられてしまう量が上回ることはおかしいのではと思いました。日本以外の他の国、スウェーデンでは食品から出たゴミで走ることができるバスがあると説明されていたので、日本でも電気自動車以外に、食品ロスを少しでも燃料にできる自動車を作ってほしいと思いました。私自身、自動車を開発するのはまだ難しいので、できることとして「好き嫌いせずに食べる」「牛乳を手前から取る」ことを日常的に意識したいと思います。